



高山西高校特集

11月3日（金）に行われた岐阜県高等学校バスケットボール選手権大会では、斐太高校男子がベスト16、高山西高校男子が準優勝、高山西高校女子が第3位と高山市のチームが活躍しました。高山西高校は男女とも決勝戦まで残るといった素晴らしい成績を残しました。惜しくもウィンターカップ出場はなりませんでした、今後の活躍にさらに期待したいと思います！今回はそんな高山西高校の特集です。



高山西高校 男子バスケットボール部主将 青木良樹

ウィンターカップを終えて

高等学校選手権大会（通称：ウィンターカップ予選）準優勝という結果で終わりました。この大会で優勝し全国大会に出場することを目標にして日々の練習に取り組んでいたの、みんな悔しい気持ちがあったと思います。でも、チーム全員で勝つという思いを一つにし、声を出し支え合うことで県で上位のチームと戦っていきける力があることも分かりました。そして、この大会を通して自分達に足りないこと、逆に通用したことなど、これから自分達が成長していくために必要なことも見えてきました。

今は、3年生が引退し、1・2年生の新体制となり練習に取り組んでいます。2年生を中心としながらチーム作りをしていき、新人戦に向けて良いムードを作りながら練習し、気持ちを一つにして大会に向かってほしいと思います。

最後に、高校選手権が飛騨高山ビッグアリーナで開催されたこともあり、地元の方々から多くの声援を頂きました。また、今日まで支えて下さった方々にも感謝します。本当に、どうもありがとうございました。



高山西高校 女子バスケットボール部 川原玲奈（高山西高等学校#4）

ウィンターカップを終えて

去年のインターハイ予選でのベスト16という悔しい結果をバネに新人戦、今年のインターハイ予選を戦いに抜き、自分たちの在るべき場所に戻ってこることが出来ました。インターハイ予選が終わってからは、ウィンターカップ予選に向けて“全国出場”という目標のもと、日々の練習を重ねてきました。強豪校との練習試合や遠方への遠征は辛い時もありましたが、自分たちが成長していくのを感じる事が出来ました。そして、ウィンターカップ予選では、決勝まで進むことができ、決勝戦は地元高山での開催、多くの方々の応援に後押しされました。結果は自分達の目標に至りませんでしたが、私の自慢の仲間たちと信頼している先生方と、どんな時でも優しく支え続けてくれた家族に囲まれてバスケットを続けてこれたことは私にとって一生の宝物です。私たちの達成できなかった目標を新チームに託し、今後も感謝の気持ちを忘れず高山西らしく頑張りたいと思います。

最後に、ここまで支えて下さった多くの方々には心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

編集後記

高山西高校が男女共にウィンターカップ出場まで、あと1勝という記録を残しました。今から17年前、私が中学生のときに斐太高校の男子がインターハイに出場しました。昨年度優勝高の新潟商業との一戦を見て「斐太高校のバスケット部かっこいいし、すごいなあ」と思った

ことを覚えています。今の小中学生にとって西高の選手達もそんな存在だと思います。そして、なにより地元チームが活躍すると本当に嬉しいです！！今後の活躍も期待しています（Y.Y）



TAKAYAMA AMATEUR BASKETBALL ASSOCIATION

飛騨高山のバスケットボールを盛り上げよう!

編集・発行：高山市バスケットボール協会

tabba.jp

高山市バスケットボール協会は賛助会はじめ協会を支えてくださる皆様のお力添えをいただきながら、地方が疲弊化する中で若者にバスケットボールを通じて夢と誇りを持って頂き、この地域を支える大きな担い手としての存在を希望しながらこれからも協会活動に邁進していきます。



大阪体育大学バスケットボールクリニック

夏休みに大阪体育大学の方が中学生を対象にクリニックを行ってくれました。大学生の力強いプレイや巧みなボールハンドリングを見て驚いたり、一緒にプレイをして楽しんだり普段とは違う環境で子ども達ものびのびと頑張っていました。大阪体育大学の夏の高山合宿も恒例になってきましたが、このようになってきたのも多くの方のバスケットへの熱い思いやご尽力があったからこそだと思います。今後もこのようなつながりを大切にしていきたいです。



中学校

今年の中体連は、男子は中山中学校が県大会優勝、女子は日枝中学校が第3位に入るなど高山市のチームが県大会でも活躍しました。そして、今年も来年の中体連に向けて新チームがスタートをきっています。今回は各中学校のキャプテンに「チームの目標」と「チームで大事にしていること」をインタビューしてきました。

写真

学校名
◆チームの目標
◇チームで大事にしていること

清見中学校 女子
◆自分に勝つ
◇全員で攻める

日枝中学校 男子
◆中体連で県大会出場！
◇バスケットボールに対して、一生懸命取り組むことはもちろんですが、あいさつ・返事・きびきび行動することなどをとても大切にしています。

日枝中学校 女子
◆県大会優勝
◇あいさつ、返事、きびきび行動

松倉中学校 男子
◆県大会出場
◇1つ1つのプレイを全力で

松倉中学校 女子
◆県大会優勝
◇最後まであきらめない

中山中学校 男子
◆県大会ベスト4
◇声を出すこと

中山中学校 女子
◆県大会出場
◇声を出して、雰囲気よく一生懸命に練習すること

東山中学校 男子
◆県大会上位入賞
◇「チームプレー」「チームディフェンス」

東山中学校 女子
◆最後まであきらめずに戦うこと
◇絶対にサボらず全員で声を出し、気持ちで負けずにプレーする

国府中学校 男子
◆部員9名で県大会出場に向けて、練習を頑張っています
◇励ましあったり、喜びあったりする声を出して、全員が一つになることを大事にしています

国府中学校 女子
◆県大会出場に向けて、6人で日々頑張っています
◇限られた時間を有効に使うために、素早く行動することを大事にしています

B3 リーグ 2017-2018 高山大会を終えて

11月18日(土)にB3 2017-2018 In TAKAYAMAを開催することができました。大会当日は、前座試合のミニ、中学生の試合でも1点差のゲームという盛り上がりを見せ、B3の2試合も迫力ある試合が行われました。1000人近くの方が会場に足を運んでくれる盛り上がりのある大会になりました。また、東山中学校の生徒は「自分の学校からこんなところで試合できる人が出るなんてすごい！」と足立尚也選手という高山市出身の選手がいることにも感動していました。こんな素晴らしいイベントになったのも高山市バスケットボール協会に所属している多くの方の協力があったからこそだと思います。本当にありがとうございました。



前座試合 ミニ女子



前座試合 ミニ男子



前座試合 中学女子



前座試合 中学男子



豊田合成 × 鹿児島



豊田合成 × 鹿児島



アイシン × 大塚商会



アイシン × 大塚商会



足立選手



観客席